

科目名 (英語表記)		建築英語 (Architectural English)						ポートフォリオ		
学年・学科		1年・建築学専攻		単位・期間	必修2単位・前期週2時間 (合計30時間)(自己学習時間60時間)			＜学生が記入する上での注意事項＞		
担当教員 (※は今年度受け持ち学生が いることを示す)		加藤巨邦* 小原聡司 中村裕文 山本 剛 大岡 優* 杉本 弘文 浅野浩平*		連絡先	建築学科棟2階第6研究室 建築学科棟2階第7研究室 建築学科棟2階第2研究室 建築学科棟2階第5研究室 建築学科棟2階第1研究室 建築学科棟2階第4研究室 建築学科棟3階第10研究室		オフィス ア ワ ー	月曜日8限目		
【授業目的】 建築学に関する英語文献を翻訳し、要約することにより、技術英文の基本的な構文・文法・語義・熟語・発音に対する理解を深めさせる。国内外における最新の情報を得ると同時に、外国文献および技術英文に対する興味と関心を励起させる。また資料の内容発表会を行い、内容に対する理解度を高めると同時に口頭発表の能力を高めさせる。										
【履修上の注意】 専攻科特別研究担当教員が、それぞれ分野に関する英文で記載された研究論文などをテキストとし、英文講読形式の講義を行う。評価は講義中の和訳及び概要発表と、レポートにて行う。										
【事前に行う準備学習や自己学習】 自己学習として毎回の予習資料を提出すること。										
【達成目標】 1)特別研究に関する英語の専門用語を理解すること。 2)技術英語を正しく読み、発音できること。 3)技術用語を英語と日本語で表現できること。 4)技術英文の構文構造を理解し、適切に翻訳できること(口頭発表でもよい)。										
学 習 到 達 目 標										
ルーブリック評価		理想的な到達レベルの目安 (A)		標準的な到達レベルの目安 (B)		未到達レベルの目安 (C)		ルーブリック評価とは設定された到達目標の合否および到達レベル(到達度の程度)を示す基準です。		
評価到達目標項目1		特別研究に関する英語の専門用語をほぼ十分に理解できること。		特別研究に関する英語の専門用語を概ね理解できること。		助言があれば特別研究に関する英語の専門用語を最低限理解できること。				
評価到達目標項目2		技術英語を正しく音読でき、正確な発音ができること。		技術英語を概ね正しく音読でき、概ね正確な発音ができること。		助言があれば技術英語を音読でき、正確な発音ができること。				
評価到達目標項目3		技術用語を英語と日本語で自由自在に表現できること。		技術用語を英語と日本語で概ね表現できること。		助言があれば技術用語を英語と日本語でなんとか表現できること。				
評価到達目標項目4		技術英文の構文構造をよく理解し、早く正確に翻訳できること。		技術英文の構文構造をある程度理解し、ほぼ正確に翻訳できること。		助言があれば技術英文の構文構造を理解し、ある程度翻訳できること。				
到達度評価 (%)										
評価方法 指標と評価割合		定期試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品実技	その他	合計	成績の評価方法について ・レポート内容(70%)と口頭発表(30%)。 ただし口頭発表は指導教員の前での発表でよいものとする。 評価基準について ・学年成績60点以上を合格とする。	
総合評価割合				70	30			100		
知識の基本的な理解				35	15			50		
思考・推論・創造への適応力				35	15			50		
汎用的技能										
態度・志向性(人間力)										
総合的な学習経験と創造的思考力										
【教科書】 各テーマごとに指導教員が配付あるいは指示する。										
【参考資料】 各テーマごとに指導教員が配付あるいは指示する。										
【学習・教育目標・サブ目標との対応】(低学年)					—					【JABEE基準との対応】 (b)～(f)
【学習・教育到達目標との対応】(高学年・専攻科)					(B), (C)					

【授業内容】			【授業計画の説明】(実施状況の記入)
授 業 要 目	内 容	時 間	
1. 授業計画の説明	授業計画・達成目標・成績の評価方法等の説明。	1	
2. 各研究室の主な内容(順不同)	杉本研究室 エコビレッジに関する英文ウェブサイト<Cohousing Association, Intentional Community, GEN等>を購読・翻訳し、記載されているコミュニティの中から、エコビレッジ型コウハウジングを抽出した上で、その概要をまとめ、レポートする。 中村(裕)研究室 建築物・都市計画に関する英語書籍を講読する。 大岡研究室 日本を含め、世界における木造建築物の力学的研究に関する英語論文を精読する。 山本研究室 建築物の地震被害に関する英語論文の精読および英文要約 加藤研究室 鋼構造物の設計または施工に関する英語文献を精読する。 小原研究室 温熱環境下の体感指標に関する英語文献を講読する。 浅野研究室 高性能繊維補強セメント複合材料の性能評価に関する英語論文を精読する。	29	【理解の度合】(◎教員は授業の実施状況を記入)
合計時間			30
【備考】			【総合達成度】 総合評価の点数() 【評価の実施状況】(◎教員は総合評価を出した後に記入する。)